

2T-6(P) 中国、上海の衣料用洗剤の成分と品質表示

○王 静秋 生野 晴美

(東京学芸大)

〔目的〕 現在、中国では、様々な衣料用合成洗剤が市販されている。地域や生産メーカー、または開発時期により、洗剤の品質表示の内容はそれぞれであり、日本の洗剤とも異なる。今回は上海で購入した合成洗剤について、成分を分析するとともに、表示の形式や内容を調べ、日本の洗剤との違いを明らかにした。

〔方法〕 1) 試料 中国7種 日本4種の計13種。 2) 成分分析 JIS K 3362により、水分、pH、エタノール可溶分、石油エーテル可溶分、全リン酸塩を測定し、界面活性剤相当分を算出した。 3) 市販洗剤のパッケージから、両国の洗剤の組成成分、表示形式の違いなどを比較検討した。

〔結果〕 1) 成分：中国の洗剤では、水分は5～8%、pHは8.4～9.3の弱アルカリ性、エタノール可溶分は13～23%であり、日本の洗剤より界面活性剤の含有率が低かった。また、有リンと無リン洗剤の両方があった。 2) 表示：日本の洗剤には界面活性剤の種類と配合率が表示されているが、中国の洗剤には配合率が表示されておらず、界面活性剤の種類も明確でない。洗剤の標準使用量は、日本では水量に対して示されるのに対して、中国では手洗いと機械洗い別に洗濯物の量に対して示しているものがあった。洗濯手順が明記され、環境に関する記述も見られた。